

オカネに関する葛藤



人件費・委託費

- ボランティア・プロボノ
- 世間相場とのギャップ
- 仕事の内容と評価
- 社会的イメージ

郵送費

- ポイントプレゼント
- 退所者へのプレゼント

事業費

- ソーシャルベンチャー

寄付

- 企業からの寄付
- 財団からの寄付
- 個人からの寄付

行政受託費

- 行政管轄の縛り
- 成果報告

企業からの受託費

- ジョブプラクティスの事例

研修費

- 有料ボランティア研修



自立支援の むずかしさ

自立支援の「理想」と「現実」



自立した生活
安定した就労
信頼・相談できる人

成功体験の積み重ね
人間関係の構築

生活習慣
愛着関係形成
学習

- 職員の人手不足
 - 配置基準 1:5.5
 - 女性の就労環境
- 施設内の人権
 - 施設内虐待
 - 第三者評価
- リスク予防
 - 失敗予防、温室育ち
 - インターネット制限
 - 性教育
- 本人の意欲
 - 問題行動
 - 引きこもり
 - 生い立ちの整理
 - 進路選択肢の少なさ
- 措置解除
 - 年齢（措置延長）
 - 児童相談所ケースワーカー

退所後支援の「理想」と「現実」

孤立、生活困難、犯罪被害
離職→フリーター化
無職→ホームレス化

生活保護、精神疾患
暴力団、風俗、触法行為
薬物・アルコール中毒

貧困、虐待
犯罪、自殺

- 生活の乱れ
 - 時間管理
 - 食事、運動
 - 病気、精神疾患、統合失調症
- 経済困窮
 - 離職、転職
 - 家賃滞納・保証人問題
 - やりくり・我慢できず
- 孤立
 - 犯罪被害、悪徳商法被害
 - 新興宗教
 - 関係の途切れ
- 人間関係
 - 「地雷」、フラッシュバック
 - 家族（親、兄弟、親せき）
 - DV、依存関係
 - 結婚、出産、子育て
- 裏世界
 - キャバクラ嬢、風俗嬢
 - 犯罪加害、万引き、ヤクザ

ボランティア活動における注意事項



1. 子どもたちと、**個人的に連絡を取らない**
(個室に二人きりで入ること、自宅訪問、恋愛は、禁止します)
(連絡先交換、個別相談、友人・知人の紹介はしないでください)
(SNSつながりを推奨しません)
2. 子どもたちと、**お金の貸し借りをしない**
(贈り物、飲食ご馳走を推奨しません)
3. 子どもたちおよびメンバーに、**宗教、営業活動などの勧誘をしない**
4. 活動を通して知った**プライバシーに関わる情報や個人情報**は口外しない
5. 困ったときや、おかしいと思ったときは、**抱え込まずに事務局へ報告・相談する**
6. **自立した社会人としてのマナーを守る**
(遅刻をしない、締切を守る、反社会的行為をしない)
(電車のある時間に帰宅させる、未成年に喫煙や飲酒をさせない)

先輩社会人としてのロールモデルとなることを意識した行動をお願いします！

B4Sの活動の趣旨や目的にあわないと判断した場合には、ご遠慮いただくこともございます

- ✓ 子どもとボランティアの**安全**を守るため
(事故を予防する)
- ✓ 何かあった場合の**責任の所在**を明確にするため
(自分の責任の範囲がわかる)
- ✓ **公平性**を保つため
(人によって支援レベルが違うことの不公平感から
不満につながる)
- ✓ 子どもとボランティアが**安心**して参加するため
(組織が継続 & 発展できる)

施設退所者の危うさ



- **依存しやすい**です。(期待)
- **傷つきやすい**です。(失望)
- **経済的に苦しい**です。(不安)
- **裏の組織につながりやすい**です。(孤独)

「電車代がない。お金を貸して。」

「今晚、泊めて。行くあてもお金もない。」

「自殺したい。いますぐ会って。」

「結婚してくれないなら、死ぬ。」

「あんたが代わりにカネ払ってくれよ。」

**「できるかも」と信じて。できることから、一歩ずつ。
ありがとうございました！**



特定非営利活動法人ブリッジ・フォー・スマイル

林 恵子

HP:<http://www.b4s.jp>

Facebook: khayashi.B4S

Twitter: eriho_b4s

僕には今まで、
夢がありませんでした。



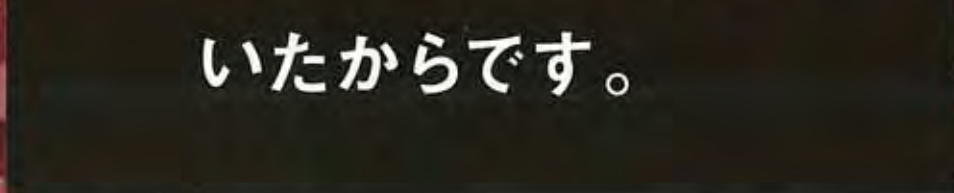
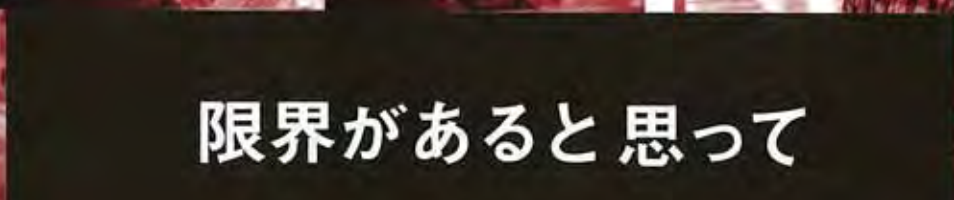
なぜなら、

施設を
退所した
人が



なれる職業、できることには

限界があると思って
いたからです。



奨学金支援プログラム

カナエール 

SCHOOL ENTRY ADVOCACY PROGRAM

<http://www.canayell.com>

「僕には今まで、夢がありませんでした。」
コンテストで奨学生の一人が語った言葉です。

18歳で進学を選択できない子どもたち。
アルバイトに時間を取られ卒業をあきらめる子どもたち。

知られていない希望格差。



カナエールは児童養護施設を退所した若者たちが進学・卒業して夢をかなえるために、「資金」と「意欲」の両面から、社会全体で支える奨学金支援プログラムです。

希望格差に苦しむ子どもたち

児童養護施設では、親を頼れない子どもたちが全国で3万人生活しています。彼らは、18歳で高校卒業すると同時に、児童養護施設を出て、自分の力で生活しなければなりません。立ち足はかかる厳しい現実を前に、自分の将来に希望をもてずにいる子どもたちが少なくありません。

進学率 **20%** (※全国平均 70%)

親元で育つ多くの子どもたちは、家族から経済的な援助を受けながら学生生活を送りますが、施設を退所した若者たちにはそれがありません。大学や専門学校に進学する場合、学費や家賃を含む生活費すべてを自分で用意しなければなりません。

中退率 **40%** (※全国平均の3倍)

生活のためにアルバイトをしながら通学するのは簡単なことではありません。生活を切り詰め、睡眠や友達との時間を削って働くうちに、身体的・精神的に疲弊して、中退せざるを得なくなる若者たちが大勢います。



「資金」に関するサポート

一時金 30万円の給付

入学金や新生活の準備に充てられます。

卒業までの奨学金(毎月3万円)の給付

3万円は、アルバイトに追われがちな奨学生たちへの時間のプレゼント。「時間のゆとり」は「心のゆとり」につながります。

「意欲」に関するサポート

スピーチコンテスト

毎年夏に、奨学生たちが自らの夢を語る「夢スピーチコンテスト」が開催されます。夢の原点や抱えている思いを掘り下げた原稿づくりを、3人のボランティアチームがサポートします。

継続的なサポート

奨学生たちは毎月ブログで近況などを報告します。独自の交流 SNS、報告会を通じ、奨学生を卒業まで見守るしくみがあります。

ご寄付に関して(ご支援方法)

カナエールでは、みなさまの寄付により奨学金を提供しています。月々 2000 円の寄付が 15 人集まれば、1 人分の奨学金となります。

*カナエールの運営団体ブリッジフォースマイルは、2011年8月1日より認定NPOとなり、寄付に対する税制優遇が受けられるようになりました。

クレジット決済

オフィシャルサイトからお支払い可能です。

銀行振込

みずほ銀行 金町支店 普通 2180322 カナエール実行委員会

郵便振替

口座名 カナエール基金 口座番号:00110-7-763735

古本等による寄付

不要になった書籍やゲーム等を寄贈することで、その買い取り相当額が寄付されるしくみです。

詳しくはオフィシャルサイトへ

canayell.com

カナエール

検索